

仏教における愛

東本願寺ロサンゼルス別院開教使

長峯 眞如

今年の一月は、あつという間に過ぎ去ったように感じます。新年早々、ロサンゼルスでは史上最悪ともいわれる山火事が発生し、私たちのサンガの中にも避難を余儀なくされた方や、大切なご自宅を失われた方がいらつしやいました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、二月といえば、世間はバレンタインの季節です。余談ですが、日本では二月十四日のバレンタインデーに、女性が男性へ贈り物（主にチョコレート）をするのが一般的です。そして、一ヶ月後の三月十四日には「ホワイトデー」と呼ばれる日があり、この日には男性が女性へお返しをする習慣があります。いずれも、互いに愛情や感謝を伝える特別な日とされています。

日本では家族や友人、恋人同士で気持ちを伝える合うことが、少し照れくさいものと感じられていくようです。一方、アメリカでは「LOVE」という言葉が日常的に使われ、感情表現がよりオープンに行われます。個人的には、とても素敵なことだと思います。

ただ、仏教において「愛」という言葉は、必ずしもポジティブな意味を持つわけではありません。多くのの方がご存じの通り、仏教が説かれるきつかけとなつたのは、釈迦族の王子であつたゴータマ・シッダールタが、生・老・病・死という人生の真実に直面したことでした。仏教における「成仏」や「成道」とは、一言で言えば、迷いや苦しみを脱し、真実をありのままに見つめる境地に達することです。しかし、私たちが苦しみを経験する理由として、「四苦八苦」と呼ばれるものがあります。

四苦とは、生・老・病・死の四つの苦しみを指し、八苦とは、それに加えて以下の四つが含まれます。

怨憎会苦（憎しみを抱く相手と会わなければならない苦しみ）
愛別離苦（大切なものと別れる苦しみ）
求不得苦（望んでも手に入らない苦しみ）

五取蘊苦（生活の中の様々な苦）

このうち、「愛別離苦」とは、私たちが愛するもの、家族や友人などと別れる際に生じる苦しみを指します。これは死別に限らず、誰かが遠くへ引越すといった場合にも経験するものでしょう。そして、その苦しみの根本には、「愛」という執着があるのです。このような理由から、仏教において「愛」は、ときに悟りへの障害と見なされることもあります。そのため、結婚や妻帯を禁じ、お寺にこもつて修行することを重んじる宗派も存在するのです。

しかし、愛そのものがすべて悪いわけではありません。私たちが執着する愛は苦しみを生み出しますが、阿弥陀仏の慈悲は、その執着を超えて、すべての存在を包み込むものです。阿弥陀仏の本願は、迷いや苦しみを

同朋のお悔み

(二〇二四年)

菊池ダーナ千代美様

十月二十四日 御命終

行年六十一歳

菊池メイ八千代様

十一月二十七日 御命終

行年八十七歳

中川ブレビンズつたえ
ジョージア様

十一月二十九日 御命終

行年八十四歳

藤谷征一様

十二月六日 御命終

行年八十三歳

影山健一様

十二月二十五日 御命終

行年八十八歳

デイヴィス・ユミ様

十二月三十日 御命終

行年六十四歳

山田葉子様

十二月三十日 御命終

行年九十五歳

(二〇二五年)

高田道夫様

一月八日 御命終

行年九十歳

謹んで哀悼の意を表します。

抱える私たちを決して見捨てることなく、無条件に救おうとする「大いなる愛」とも言えるでしょう。

浄土真宗の宗祖である親鸞聖人は、もともと天台宗の僧侶として出家しましたが、後に結婚・妻帯した僧侶の先駆けとなりました。現在でも、浄土真宗の僧侶は結婚し、家庭を持つことが許されています。親鸞聖人は、自らを「非僧非俗（ひそうひぞく）」という立場で捉えていました。これは、単に出家者としての修行を捨てたということではなく、むしろ在家の人々と同じ目線で仏の教えを実践するとに重きを置いた生き方でした。僧侶と一般の人々の垣根を取り払いながら、共に聞法し、私たちが人として生きる意味とは何かという問いに向き合っています。

また、親鸞聖人は、阿弥陀仏の救いは「私た

ちの修行や努力（自力）によるものではなく、すべて阿弥陀仏のはたらき（他力）によるものであると説かれました。

私たちは煩惱を抱え、執着する存在ですが、それにもかかわらず、阿弥陀仏の大いなる慈悲は全ての生きとし生けるものに差し伸べられています。つまり、私たちが迷いや苦しみを抱えることそのものが、阿弥陀仏の限りない慈悲（大いなる愛）に気づくきっかけとなるのです。

バレンタインの季節に、私たちは家族や友人、大切な人への愛に改めて気付かされます。そして私自身も、親鸞聖人が示された「非僧非俗」の立場に生きる身であることを再認識させられます。一人の人間として他者と共に生きる中で、家族や友人への愛情を素直に抱けることのありがたさを感じるとともに、阿弥陀仏の慈悲に思いを馳

せ、自らのありのままを受け入れながら生きることの大切さを見つめ直す機会ともなっています。



最近の行事

年末年始の行事

二〇二四年の締めくくりとして、十二月十五日（日）に恒例の大掃除を行いました。多くの方々に協力いただき、二〇二五年を迎える準備を整えることができました。台所、ソーシャルホール、各教室、本堂、玄関、そして境内まで、隅々まで心を込めて清掃いただき、多くのボランティアの皆さまのお力添えのおかげで、お寺を美しく整えることができました。お手伝いいただいた皆さまにこの場をお借

りしてお礼申し上げます。

十二月三十日（月）には、餅つきを行いました。御門徒の皆さんやご家族、ご友人が集まり、元旦の修正会でお供えするお餅や、ご家庭にお持ち帰りいただくお餅と一緒に作りました。餅つきを企画してくださった山城家の皆さまありがとうございました。ございました。

十二月三十一日（火）

には、除夜会が勤まりました。法要の後には、皆さまとご一緒に年越しそばをいただきました。法話では、過ぎゆく年を振り返り、そして新年への願いが語られました。

また、一月一日には、新年を迎える修正会をお勤めしました。

年末年始の特別な行事にご参加いただいた皆さま、ありがとうございます。二〇二五年も、法要や行事を通して皆様にお会いできることを楽しみにしております。

メンバーシップのお納めについて

会費は、家族会員（主会員の二十二歳未満のお子様を含む）が四百ドル、個人会員が二百ドルとなります。寺院の正会員の方は、ご希望に応じて寺務所にて風月堂およびトイヨミヤタケスタジオの十パーセント割引クーポンを受け取ることができます。オンラインでお支払いの場合は、左記のリンクにアクセスするか、QRコードをスキャンしてください。

<https://hbht-la.square.site/membership>



永代経法要・総会

二〇二五年の永代経法要には、多くのご家族やご友人が参列し、お亡くなりになった御門徒の皆さまを偲びました。法要では、長峯眞如師より英語の御法話を、長谷川智行師より日本語の御法話をいただきました。

また、同日に総会と新年会も開催されました。会場は、全米日系人博物館の新谷ホールでした。

参加者は、ニジャマーカーットによる味噌漬け銀鱈と照り焼きチキンの美味しい弁当を楽しみました。また、オープンバーも設置され、理事会やご門徒の皆さんが持ち寄った美味しいデザートも振る舞われました。

新年会は、理事長のアイリーン・太田さんと伊東憲昭輪番のご挨拶から始まりました。その後、総会が開かれ、長峯眞如師による別院の活動報

告、ゲイリー・金本さんによる財務報告、デイヴ・イッド・池田さんによる

二〇二五年度の理事会役員選出が行われました。

今年度の理事長には、ロン・佐藤さんが再任され、副理事長にはジェイソン・ウォンさんとデイヴィッド・池田さん、書記にはグレイス・山城さん、会計責任者にはゲイリー・金本さん、会計にはアイリーン・太田さん、イレイン・バーボツドさん、ゲイリー・西村さん、伊藤信さんが就任しました。また、ステイ

ヴ・村田さんが理事会メンバーとして再任されました。

その後、伊藤輪番、太田前理事長、新理事長のロン・佐藤さんより、昨年お寺の活動を支えてくださったボランティアの皆さんへ感謝の贈与が行われました。特に、前理事長としてご尽力されたアイリーンさんとペニー・村田さんへ、特別な

感謝の意を込めた贈呈がありました。

また、伊東輪番が今年の九月をもって退職されることが公式に発表されました。九月二十八日には、記念行事が予定されていますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

その後、大谷楽苑による合唱と、リンジー・柏原さんが作成した一年を振り返るスライドショーが上映されました。また、プログラムの中で、抽選によるドアプライズのプレゼントも行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

司会を務めてくださった伊藤信さん、新年会を運営してくださった理事会の皆さんに心より感謝申し上げます。

また、八十歳以上の会員様への贈り物を企画してくださったイレイン・原田さん、シャリリン・ジャンさん、各座席の花飾りを用意してくださっ

たりサ・島本さん、アボカドを提供してくださった村田家の皆さん、リトル東京コミュニティカウンスルによるサラダドレッシングのご寄付、そしてテーブル用の蛇の置物を準備してくださったレスリー・二町さんにも御礼申し上げます。

また、ドアプライズを提供してくださったジャネット・伊東さん、アイリーン・太田さん、ナンシー・栗原ジョンソンさん、グレイス・山城さん、エミリー・松村さん、デイヴィッド&キャシー・池田さん、ゲイリー・西村さん&ミカ・山本さん、イレイン・原田さん、ロン&ベッキー・佐藤さん、スーザン・柏原さん、伊東見華さん、そしてデザートをご提供いただいた風月堂、アイリーン・太田さん、クレイグ&ハルコ・原田さん、ロン&ベッキー・佐藤さん、伊東見華さん、スーザン・原田さん、ゲイリ

ー・西村さん&ミカ・山本さん、ジェイソン&レスリー・ウォンさん、ミヨコ・岡本さん、エミリー・松村さんにも心より御礼申し上げます。

さらに、ルンビニ幼稚園のスタッフであるレスリー先生、ジャック先生、ダニー先生をはじめ、会場の設営や片付けを手伝ってくださった多くの方々にも深く感謝いたします。皆さんの温かいご協力のおかげで、とても楽しい新年会となりました。

落ち着かない幕開けとなった一月でしたが、新年会では心温まるひとときを過ごすことができました。ご参加いただいた皆さんに心より御礼申し上げます。



お知らせ

春季彼岸法要

今年の春の彼岸法要は、三月十六日(日)午前十時より勤められます。同日午後一時からは、春季セミナーも開催されます。彼岸法要と春季セミナーの講師には、洗心仏教会の元駐在開教使である小谷正雄先生をお迎えします。ぜひ、ご家族やご友人をお誘いあわせのうえ、ご参拝ください。



仏教連合会 花祭り

ロサンゼルス仏教連合会の毎年恒例の花祭りは、二〇二五年四月六日(日)午後一時より本願寺ロサンゼルス別院にて勤修されます。花祭りは、釈迦牟尼仏の誕生を記念する法要です。講

師として、南カリフォルニア大学ドーンスファイナンス・クラシゲ教授であるロン・クラシゲ氏をお迎えし、「花祭り、百年の歴史・ロサンゼルス日系人社会と釈尊降誕会のかかわり」というテーマでご講演いただきます。

ロサンゼルス山火事 復興支援

ロサンゼルス郡で発生した山火事により被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

また、救助・支援活動にあたる消防士や救助隊をはじめとするすべての方々の献身的なご尽力に、深く感謝いたします。

被害に遭われた方は、ぜひご連絡ください。どのような形で支援できるか、ご相談させていただきます。

当別院で集めた義援金は、被災地域で直接支援活動を行う団体へ寄付い

たします。多くの団体が復興支援に取り組んでおりますので、ぜひ寄付をご検討くださいますようお願い申し上げます。左記にいくつかの支援団体を紹介しますが、ほかに多くの団体が活動しています。

ロサンゼルスユダヤ教連盟
<https://www.jewishla.org/>

ミューチュアルエイドネットワーク
<https://mutualaidla.org/>

ロサンゼルスフードバンク
<https://www.lafoodbank.org/>

カリフォルニアコミュニティ・ファンデーション
<https://www.calfund.org/>

また、復興支援のために、リトル・トーキョー・サービス・センター(LTSC)が支援情報をまとめています。詳しくは以下のリンクをご覧ください。<https://www.lisc.org/lafire2025/>

第二十三回 ゴルフトーナメント

第二十三回ゴルフトーナメントは、三月十日(月)に新しい会場キャンドルウッド・カントリークラブにて開催されます。

トーナメントは午前九時に開始します。今年の参加費は百九十五ドルで、グリーンフィー、カート、レンジボール、賞品、ビュッフェが含まれます。順位はキャラウェイ方式により決定されます。さらに、昼食時には特別賞の発表もされる予定です。

今年の収益は、ユースグループおよび寺院の維持管理費に充てられます。ぜひご友人や知人をお誘いのうえ、ティースポンサーとしてトーナメントへのご支援をお願いいたします。

ティースポンサー…
一ホールにつき百五十ドル
トーナメントスポンサー…
千八百ドル
(ゴルフア四名の参加含む)

ゴールドスポンサー…
五百ドル

シルバースポンサー…
三百ドル

ゴルフトーナメントやティースポンサーについての詳細は、寺務所までお問い合わせください。オンラインでお支払いの場合は、左記のQRコードをスキャンしてください。



行事予定

四月

六日 四月祥月法要
六日 仏連花祭り
八日 釈尊降誕
十三日 日曜礼拝
二十日 花祭り家族礼拝
二十七日 日曜礼拝